

## 京都第一赤十字病院医学雑誌 投稿規程

### 1. 目的

学術活動を通して、京都第一赤十字病院の医療の向上に寄与するため、また、職員の学術活動に対する意識と意欲を高めることを目的に、京都第一赤十字病院医学雑誌を発行する。

### 2. 発刊回数

年1回発行

### 3. 投稿資格

原則として投稿者は本院の職員および退職者で在職中に当該研究をおこなった者とする。ただし、医学雑誌編集委員会から依頼したものはこの限りではない。

### 4. 投稿原稿の種類

医学・医療およびこれに関連ある論文、総説、原著、症例報告、臨床報告（興味ある臨床的内容を含む報告）、そのほか学術活動に関する記事などを掲載する。

投稿論文は未発表・和文のものに限る。

### 5. 掲載論文の採否

投稿原稿の採否と掲載順序は編集委員会において決定する。論文は複数の査読委員（必要に応じて編集委員以外にも委嘱する）より査読・審査のうえ採否を決定する。

### 6. 文章表記

編集方針に基づき、医学雑誌編集委員会が加筆、訂正を行う場合がある。

### 7. 投稿原稿提出方法

テキスト形式で作成した原稿と表、指定の様式で作成した図（ファイル）にそれぞれ明瞭なタイトルを付し、メールまたはUSBメモリ等の電子媒体での提出とともに印刷したものを一部添えて教育研修推進室へ提出する。

論文提出時に投稿論文チェックリストも提出する。

### 8. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、京都第一赤十字病院に帰属する。京都第一赤十字病院は、掲載される論文等の全体、もしくは図表などの一部を電子化して、本件が認めたネットワーク媒体、その他媒体で掲載することができる。医学論文は原則として赤十字リポジトリで公開する。

### 9. 患者のプライバシー保護に関する注意事項

① 個人を特定できる情報（氏名・出身地・住所・職業歴・既往歴・家族歴・詳細な受診年月日・他院での受診歴など）は記述を避け、必要最低限に留める。

例1. 顔写真を掲載する場合は目を隠す。眼所見を提示する場合は同部のみを拡大する。

例2. 画像やマクロ写真に付されている患者番号、日付等は削除する。

### 10. 論文原稿

① 原稿はMicrosoft社のWord等で作成し、フォントはMS明朝、フォントサイズは10.5を用い、A4版用紙に楷書・横書きで1ページ全角40文字×20行（800文字）、ダブルスペースとする。また、句読点は「,」「.」（全角）を用いる。

- ② 論文の記述順序は、
- i) 表題
  - ii) 著者名
  - iii) 所属
  - iv) 表題 (英文)
  - v) 著者名 (ローマ字)
  - vi) 所属 (英文)
  - vii) ランニングタイトル (スペース含めて 20 字以内)
  - viii) 原稿の枚数、図・表の数
  - ix) 責任著者名、連絡先及びメールアドレス  
(以上を表紙として 1 枚にまとめる)
  - x) 和文要旨および Key Words (抄録の下に 3~5 個のキーワードを記載すること。)  
英文要旨の掲載希望があれば、掲載する。
  - xi) 本文  
原著：緒言、目的、対象、方法、結果、考察、結語  
症例報告：緒言、症例、考察、結語  
臨床報告：可能な限り、それぞれに準ずる
  - xii) 文献
  - xiii) 図と表の説明
  - xiv) 図・表
  - xv) また、i) から x) まで必ずページ番号を付けること。  
和文要旨の下のキーワードには医学中央雑誌刊行会の医学用語シソーラスを用いることとする。最近発表された専門用語で適切な医学用語がシソーラスに掲載がない場合は、今使われている用語を使って差しかえること。
- ③ 原稿の長さは、原則として、図・表を含めて、本誌 10 ページ (1 ページは 2,000 字) 以内とする。
- ④ 新かなづかいを用い、医学用語を除き当用漢字とする。日本語で表せる用語は、できるだけ日本語で表し、外国語を避ける。ただし、外国人名、地名、酵素名、生化学的な物質名、薬品名は、原則として原語またはカタカナを用いる。その場合の外国語は半角を用いる。
- ⑤ 数字は算用数字を半角で用い、度量衡は C.G.S 単位とし、km, mm, L, dL, kg, g, mg, mEq/L, mg/dL 等を用いる。
- ⑥ 文献は、次の記載法による。本文中の引用文献は、その右肩に番号をつける。末尾文献表については、著者名は 3 名まで記載、それを超える場合は“ほか”、“et al”と記載、引用順とし、本文中の番号と照合する。

記述順序は、

[雑誌] 著者名. 題名. 雑誌名 年号; 巻: 最初頁-最後頁.

例)

1) Bogdanski DF, Pletscher A, Brodie BB, et al. Identification and assay of serotonin in brain. J Pharmacol Exp Ther 1956; 117: 82-88.

2) 櫻井経徳, 武田圭作, 伊藤浩二ほか. 化学療法が効奏した後腹膜脂肪肉腫の 1 例. 日臨外会誌 1997; 58: 910-915.

雑誌の省略は、NLM Catalog (Journals in NCBI Databases) 及び医学中央雑誌刊行会の収載誌名によるものとする。

[単行本] 著者名. 題名. 編集者名. 書名. 発行地名: 発行所名, 年号; 最初-最後頁

例)

1) Morson D, Dawson I, David F, et al. Gastrointestinal Pathology. Oxford. Blackwell

Scientific Publications, 1989; 335-338.

2) 安部良行, 堤 寛. 硬化性血管腫. 下里幸雄編. 腫瘍鑑別診断アトラス 肺, 東京: 文光堂, 1996; 172-174

- ⑧ 図は、別に添付し、印刷されたときの体裁を考慮にいれて、縦横の対比に注意し、縮小・拡大率を明記すること。また、GIF または TIFF ファイルにて、400 × 400dpi 以上の解像度で作成すること。

カラー写真に関しては、編集委員会より白黒写真への変更を求める場合がある。

- ⑨ 表は、原稿と同じテキストファイル形式で、縦線を入れずに作成すること。

- ⑩ 図・表中の文字は縮小された場合にもよくわかる大きさと、体裁の良いものであること。

- ⑪ 図・表の説明については、日本語で記載する。

ただし、写真等には変化や前後関係がわかるように経時的に図を並べる。

矢印を付する等で可能な限り図表だけで理解できる体裁を工夫することが望ましい。

## 11. 要旨

- ① 和文要旨は 500 文字以内とする。英文要旨は 200 語以内とする。  
② 要旨は、目的、方法、結果、結論を明示すること。

## 12. 倫理審査及び関連する事項

・投稿論文の作成においては、ヘルシンキ宣言（世界医師会）の科学的小および倫理的規範を遵守すること。

- ① 患者データを用いた臨床研究（原著、もしくは臨床報告）に関しては、当院倫理委員会での審査、承認を必要とする。  
② 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の対象とならない研究は倫理委員会審査を必要としない。

例) 患者データを用いていない研究、システム管理などに関する研究

- ③ 「個人情報保護法の改正に伴った研究倫理指針の改正」において対象から除外されている研究  
例) 症例報告

## 13. その他

- ・他社の作成した図表の引用など著作権に関わる場合は、著作権者（学会、出版社など）に転載の承諾を得ること。  
・利益相反状態の有無を必ず付記すること。

平成 30 年 9 月 1 日改訂